

あまがすき

We Love AMA

- 特集:オンライン子育て団体交流サロン開催のご報告
子育て団体交流会ご案内
- シリーズ:まちを支える団体の皆さん
「オンラインや SNS を使った団体の取り組みをご紹介します」
- 「LINE 講座」「Zoom 体験会」のご案内
- あまのあれこれ事典
「尾張四観音は本当に凄いのか!」

■ 「オンライン子育て団体交流サロン」開催のご報告 ～子育てに関わる団体の活動情報交換～ ■

2月26日(土)に開催予定だった「子育て団体交流会」は、新型コロナウイルスの感染拡大のため4月に延期となり、代替イベントとして同日に「オンライン子育て団体交流サロン」を開催。センターに登録している子育て関連の団体3団体と、市の職員、「子育て団体交流会」の講師の河合清美先生がパソコンの画面越しで交流しました。

特にコロナ禍において、第一子を出産する母親が、産休中に母親同士のつながりができないまま社会復帰せざるをえない現状や、ひと昔前の子育ての常識を窮屈に感じている親たちが多いことなどが話題になりました。団体として母親に学びの場を提供したり、世代間ギャップを埋めるための取り組みなど、子育てを取り巻く環境の変化に対応した支援を、今後も行っていきたいと報告がありました。その他にも、参加者の皆さんから活動の様子など多くの発言があり、貴重な情報交換の機会となりました。



河合先生は、「子育てにおいては、ちょっとした声掛けや共感することが大切。親が笑顔だと子どもも笑顔になります」とおっしゃいました。4月に開催する「子育て団体交流会」では、河合先生の講演の他、子育て団体との交流会を予定しています。ぜひ、一般の市民の皆さんもご参加ください。



オンライン交流会のようす



■ 子育て団体交流会開催のご案内 ■

■子育て団体交流会 ～子どもの笑顔が広がるまちづくり～

4月23日(土)開催■

◆子育て講演会「個性を知る子育て」…10:00～11:00

「発達障害の子どもへの接し方は難しい?」子どもの成長や発達はそれぞれですが、特性や個性を理解し、一人ひとりに寄り添った子どもへの接し方を考えてみませんか。

講師には米国カンザス州認定依存症カウンセラー・日本カウンセリング学会会員の河合清美先生をお招きします。

◆子育ておしゃべりサロン …11:00～12:00

子育て団体と市民の交流の場です。この機会に、市民の皆さんに活動のPRをしませんか? お子様連れでもお気軽にお越しください。

**会場では、子育て団体の活動展示など、子育て情報満載です!
一般の方もぜひご参加ください。**

会 場:あま市七宝産業会館2階 大会議室
問合せ:あま市市民活動センター ☎052-445-1900

Mail: info@ama-shiminkatsudo.jp

こちらの QR コードより
お申込みください。



■シリーズ:まちを支える団体の皆さん■

第7回 オンラインやSNSを使った団体の取り組みをご紹介します

コロナ禍、団体の活動が中止や縮小される中、活動の継続を模索し続けている団体の皆さん。

特に、市民活動を支える多くのシニアの方たちにとって、オンラインやSNSにチャレンジするのはとても勇気のいること。団体が新しいツールを取り入れ工夫しながら活動している様子の一部を紹介します。

スマホ

～シニアのためのスマホ教室～

美和地区花長寿会

昨年春、高齢者を対象に、新型コロナワクチン接種が始まりました。花長寿会の会員の多くは、スマホを持っていても操作が分からないためインターネットでの予約ができず、直接会場に行ったり、つながりにくくても電話で予約をしていました。

今後もIT化が進むことを想定し、あま市のホームページなどから情報収集して、スマホでいろいろな手続きができるように「高齢者向けスマホ講習会」を開催しました。参加者のスマホの機種はさまざま、使われ方もそれぞれ。そのため講習会は、質疑応答による個別対応で行いました。受講後、スマホからワクチン接種の予約ができた人もいました。

会員からの要望も多く、覚えた操作を忘れないように、令和4年度も開催する予定です。



Zoom

～Zoom 定例会～

あま市アレルギーの会

あま市内で、アレルギー疾患のある子どもを持つ親同士の交流・情報交換を目的に活動中。勉強会や料理教室などの定例活動の他、アレルギーっ子の防災対策として「いざという時のために！緊急時(災害時)おねがいカード」の紹介も行っています。

コロナ禍での定例活動は、対面の他、Zoomによるオンライン交流会も行いました。チラシを置いている施設が休館となるなど十分な告知ができず、参加者は減りましたが欠かさず行いました。今年度はあま市社会福祉協議会の赤い羽根共同募金助成事業を活用し、アレルギー対応の知識に関する「食物アレルギーを理解してみんなで安心な防災に備える勉強会(仮称)」を開催する予定です。

活動に興味のある方はこちらからお問合せください。



LINE

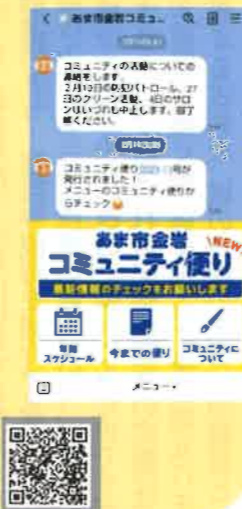
～公式 LINE アカウントで情報発信～

金岩地区コミュニティ協議会

地域の情報を住民に届けたいとの思いで、令和3年、公式 LINE を開設。LINE では、コミュニティからのお知らせをはじめ、地域に関する情報を広く発信。また、イベントの中止や変更も、登録しているお友だちに早く確実に伝えることができます。

若い世代の住民に関わってもらい運用しているという LINE。一家族一人の登録が目標です。LINE を通して、毎月発行している「コミュニティ便り」を多くの住民に読んでもらい、地域(コミュニティ)に関心を持つきっかけにしてほしいと願っています。

お友だち登録はこちらから➔



LINE

～いつでも質問・予約OK～

あま市 de 学生まちづくり

毎月定期的で開催している「あまっこ自習室」のお知らせや予約ツールとして、公式 LINE を活用しています。



メニュー画面

小学生もスマートフォンを使っている昨今、SNS の使用は制限しても LINE はOKという家庭も多いとのこと。そこで、学生に気軽に自習室を利用してもらおうと、公式LINEアカウントを開設しました。

画面を見ると、利用者はいつでもメニューから開催日や場所もわかり、予約フォームで申し込みもできます。一方で、主催者側の団体は受付対応の負担を減らすことができます。LINEは、SNS によって情報収集や連絡を行っている学生にぴったり合っているようです。

LINE

～LINE グループで出欠連絡～

二ツ寺ゴミゼロ

二ツ寺ゴミゼロでは、活動する際の出欠連絡に LINE を利用しています。電話の時は、留守で連絡が取れないことも多く、会員の出欠確認に時間がかかりました。LINE は一斉に連絡ができ、資料の添付や全員での意見交換もできるので、今では団体の運営がとても効率的になりました。



グループ LINE の使い方を初歩から丁寧に教えたことで、皆、楽しみながら操作し、できることがどんどん増えていきました。

今後も LINE を活用し、会員同士のコミュニケーションにも役立てていきたいと思っています。

Zoom

～Zoom で会議を継続～

NPO 法人あま市防災ネット

防災ネットのメンバーは、「あいち防災カレッジ」を修了した防災リーダーとしても活躍しています。団体の活動に役立てるため、防災リーダーの会議や研修にも積極的に参加してきましたが、コロナ禍で、ほとんどが対面からオンライン開催へ変更になりました。

オンライン会議は全員が未経験。はじめはWi-Fiへの接続でつまづくこともあり、苦手意識から、会議に参加するメンバーも偏りがちになりました。

そこで、より多くのメンバーが会議に参加できるように、2月にはZoom研修会を受講。今では基本的な操作は習得でき、遠方への移動時間の節約などオンラインのメリットも感じられるようになりました。



Wi-Fi

～集会所にWi-Fi設置～

伊福地区コミュニティ推進協議会

地区の集会所は、地域活動の拠点として自治会やコミュニティ協議会等によく利用されています。コロナ禍の中、コミュニティは、青パトや古紙回収、ふれあいカフェなど、できる範囲で活動を続けていますが、集会所で行う集会、会議等はコロナの感染防止のため中止となることがよくありました。



集会所にWi-Fiが設置されたのは、コミュニティの役員の提案がきっかけ。区長に要望書を提出して実現しました。スマホの通信料の節約にもなり、集会所を利用する地域住民にも喜ばれています。今後はオンライン会議を行うなど、さらに活用が広がりそうです。



■LINE 講座 参加者募集! ■

団体のメンバー間の連絡に「グループ LINE」を活用しませんか? スタンプの送り方などもお伝えします。

日時:6月15日(水) 10:00~11:30

会場:あま市市民活動センター

■「Zoom 体験会」講座 随時受付中! ■

コロナ禍でも、Zoom を使えばオンラインサロンが開催できます。Zoom は繰り返し利用することが使いこなす近道です。センタースタッフがサポートしますので、お気軽にお申し込みください。

会場:あま市市民活動センター

◆所要時間 1時間 ※2~3名でお申込ください。

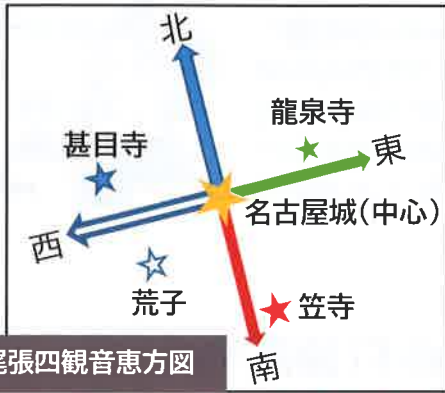
※ご自身のスマートフォンやタブレット、パソコンをご用意ください。

「尾張四観音は本当に凄いのか！ その一」

甚目寺、荒子、笠寺、龍泉寺といえれば？ 答えは「尾張四観音」です。あま市民であればいわずと知れた甚目寺観音の定冠詞、そう！ 甚目寺観音を紹介する際、必ず用いられる言葉です。ただこの尾張四観音、いつ、だれが、どのような経緯で定めたのか、改めて調べてみたのですが、正直分かりません。良く語られる尾張四観音の定義は、徳川家康が名古屋城を築く際、城を中心に東西南北八キロの距離に位置する古刹を、城の守護のために四観音として定めた」となります。これを聞いて、単純に築城に際し方位学などに基づき城の守護のために定めたものと思っていたのですが、実際その配置を見ると東西南北になっただけ（図を参照）。ということと、方位学とは関係が無いと思えます。では防御面からはどうでしょうか？ 確かに甚目寺観音であれば津島上街道沿いに位置し美濃路にも近いので、境内に兵を配置させ敵を迎え討つことも可能です。笠寺であれば東海道、荒子は佐屋路……というように、一見、理に適っているようにも思えますが、だとすればあえて「観音」でくる必要があるのでしょうか？ しかも四か寺にしぼる必要もないと思います。

家康の指示であれば、江戸初期に築かれた城には尾張同様に“〇〇四観音”があつても良いのではと思いついて調べましたが、やはり他には見当たりません。個人的な見解ですが、四観音の設立について江戸幕府はおろか尾張藩も関係していないのでは……かと思えてなりません。

この続きは次号で。



尾張四観音恵方図

美和歴史民俗資料館 館長 近藤博



活動団体情報 募集中！

登録団体のイベント情報、メンバー募集、ボランティア募集など、掲載希望の情報がありましたら、ご連絡ください。

(但し入稿の期限がありますので、ご了承ください。)

あまテラス市民ボランティア募集

市民活動センターでは、市民ボランティアを募集しています。地域のために小さな一歩を踏み出してみませんか？ また、市民活動登録団体の活動において、市民ボランティアの協力がほしいといった情報もお待ちしています。お気軽にご相談ください。

■甚目寺コミュニティ協議会のイベントお手伝い



- 「つなぐ市」・「おもちゃ病院」・
- 「おさがり交換会」・「こども緑日」・
- 「甚目寺 act. マーケティング WG」

詳細は甚目寺コミュニティ協議会 HP にて➡



…甚目寺コミュニティ協議会、甚目寺 act.

■学習サポーター(中学生対象)募集

- ・あま市ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業



謝金 ¥3,000/回 交通費(上限あり)
毎週木曜日 18時45分～20時45分
会場:美和児童館 駐車場あり
…母子寡婦たんぼぼ学習支援事務局

■「安心電話サービス」ボランティア募集

- ・安心支え合いネットワーク事業
高齢者の安否確認を行う電話ボランティア

…あま市社会福祉協議会



■受付・会場案内ボランティア募集

- ・市民活動センター主催「子育て団体交流会」
4月23日(土)10時～12時 七宝産業会館
…あま市市民活動センター



あまテラス情報発信のご案内

公式 LINE 登録お待ちしています！



お友達登録をすると
センターからの最新情報
をお届けします。



メルマガ会員募集しています！

市民活動センターでは、毎月15日と30日頃にメルマガジンを配信しています。下のアドレスからお名前とメルマガ希望とメールしてください。
← こちらからどうぞ！



皆さまのご登録をお待ちしています！

あまテラスに関するお問い合わせなど、お気軽にお寄せください。ホームページでは、日々、あま市の市民活動の最新情報をお届けしております。



で検索してみてください！

イベント、講座の最新情報はホームページで発信中！

URL <http://www.ama-shiminkatsudo.jp/>

発行:あま市市民活動センター あまテラス

所在地:あま市七宝町遠島十坪 119-2 七宝産業会館 1F

TEL:052-445-1900 FAX:052-445-2030

Mail:info@ama-shiminkatsudo.jp

開館時間:9時～17時

閉館日:毎週月曜、祝日の翌日 年末年始

